

第11回調査・研究企画企画調整会議研究運営部会 議事概要

(注：本会議は個別具体の研究者や研究課題名に言及した議論が行われることから、非公開で行った。

本会議概要についても、それらが特定されない形での公表とする。)

- 1 日時：平成24年3月8日（木） 16：00～16：50
- 2 場所：食品安全委員会22階中会議室
- 3 出席者（8名）五十音順
 - 圓藤 陽子（独立行政法人労働者健康福祉機構関西労災病院
勤労者医療総合センター・産業中毒センター長）
 - 尾崎 博（国立大学法人東京大学農学部教授）
 - 鬼武 一夫（日本生活協同組合連合会品質保証本部安全政策推進室室長）
 - 熊谷 進（食品安全委員会委員長代理）
 - 小泉 直子（食品安全委員会委員長）
 - 品川 邦汎（岩手大学特任教授）
 - 長尾 拓（食品安全委員会委員）
 - ◎廣瀬 雅雄（食品安全委員会委員）

(◎：座長)
- 4 欠席者（0名）
- 5 議題
 - (1) 平成24年度食品健康影響評価技術研究に係る新規対象課題の選定のための事前評価におけるヒアリング審査対象課題の選定について
 - (2) その他
- 5 議事
 - (1) 平成24年度食品健康影響評価技術研究に係る新規対象課題の選定のための事前評価におけるヒアリング審査対象課題の選定について

平成24年1月4日から2月2日までの間に応募があった48課題について、各委員が書面審査した結果について事務局で整理したものを資料として、ヒアリング候補課題の選定について審議した。一次候補として、まず、全分野で書面審査での上位6課題を選定し、最終的に次のとおり各分野のヒアリング候補課題として6課題選定することとなった。

 - ① 化学物質関連分野
→一次候補として選定された1課題をヒアリング候補とすることを決定した。
 - ② 生物学関連分野
→一次候補として選定された2課題をヒアリング候補とすることを決定した。
なお、ヒアリング候補とすることとした課題に、患者から採取された試料を用いた研究内容が含まれており、実現が可能であるか、ヒアリング時に確認することとなった。
 - ③ 新しい評価手法の開発に関する分野
→一次候補として選定された1課題をヒアリング候補とすることを決定した。
 - ④ 自ら評価や新たなハザードへの対応、緊急時対応等に必要分野

→一次候補として選定された2課題をヒアリング候補とすることを決定した。
なお、ヒアリング候補とすることとした課題の研究内容について、リスク管理機関で実施する内容との重複が懸念されるため、ヒアリング時に確認することとなった。

なお、書面審査での上位7位から10位の4課題について、内容を検討したが、既に評価済みのハザードについての研究である、2年の研究期間では成果を出すことは難しい、リスク管理機関で実施する研究ではないか等の意見があり、ヒアリング候補としないこととなった。

また、事前評価におけるヒアリング審査は、4月9日に実施することとし、1課題あたり、発表10分、質疑応答20分、委員間の議論5分、評価票記入時間5分の合計40分で実施することとなった。

以上